

本当に最適なクラウドストレージの選定ができる！

失敗しない！ 法人向けクラウド ストレージ選び 10のポイント



本資料でわかる3つのこと

- 1 クラウドストレージ利用時のよくある不満を確認し、回避できる
- 2 クラウドストレージ導入でチェックすべきポイントが分かる
- 3 法人利用に最適なクラウドストレージの特徴が分かる



導入前に知っておきたいクラウドストレージ利用によくある不満

本来、ファイルやデータは一元管理する事で利用効率化と促進がされるものではあるものの、クラウドストレージにおいては利用用途や範囲は限定的で、全社統一のストレージプラットフォームとして活用している法人組織はまだまだ少ないと言えます。

多くの企業は、一部の部門や組織のメンバーに限定して有償のユーザーライセンス（ID）を提供したり、無償の個人用クラウドストレージにファイルを保存し社外では閲覧・共有したりと、セキュリティリスクの高い運用を継続しているケースもあります。

ここでは、クラウドストレージを検討される前に知っておきたい、「全社統一されない・できない」クラウドストレージの利用にありがちな不満の中から、代表的なものをご紹介します。

不満その1

クラウドストレージは使いづらい。
ファイルサーバー・NASを併用したり、
複数サービスを組み合わせる利用

- 
- ・ 利用シーンに応じていくつかのクラウドストレージ併用。
 - ・ ファイルアクセスのレスポンスが遅い…

不満その2

ストレージのブラックボックス化
セキュリティ面での不安
権限設定やファイル共有範囲

- 
- ・ 上位の階層でしかアクセス権限を設定できない
 - ・ 利用状況が把握しづらい

不満その3

ユーザーID課金なので、
大人数や社内外のファイル共有に
使いたい場合はコストが懸念

- 
- ・ 円安でコストが1.2倍に…
 - ・ 利用頻度も容量も人それぞれ。ストレージがだぶつく

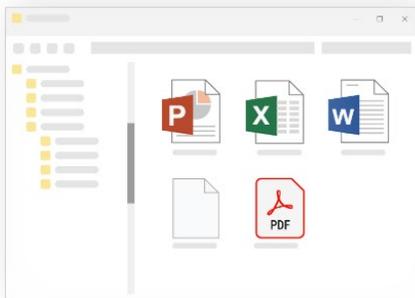
導入時にチェックすべきポイント10選

No.	ポイント	チェックすべき理由や詳細
1	組織全体で管理統制しやすいサービスですか？	フォルダ階層が深くなると、アクセス権限付与に制限がかかるサービスもあり要注意です。また、個人領域も活用し、組織のフォルダ構成やファイル整理を進めやすいサービスかどうか確認しましょう。
2	自社に必要なセキュリティポリシーに沿った運用ができますか？	アクセス権限付与、ユーザー認証、ログ管理等の機能は自社のポリシーに合っていますか？また、操作ログ分析は別サービスやソリューションが必要になるケースもあり、追加コストの懸念もあります。あらかじめ分析に適した画面・機能があると非常に効率的な運用が可能です。
3	全社のファイルサーバーとして利用ができますか？	ファイルサーバーとしての操作性や企業や組織に必要な統制のために、エクスプローラからのフォルダ・ファイルアクセスができる使い勝手や、全体管理と部分管理といった管理権限のバランスが取れたサービスを選びましょう。
4	社内外とのファイル共有がセキュアに行えますか？	人為的ミスリスクを軽減できる「直感的・シンプル」な操作性か、社外へファイル共有をする際にパスワードやアクションレベルの設定が可能か、共有時の承認機能があるか、さらに、誤送信時の対処が分かり易いかという点も確認しましょう。
5	安定的に快適に利用できるクラウドサービスですか？	SaaSのクラウドストレージは、ネットワーク品質やサービス仕様によって、ファイル操作にもたつきを感じたり、保存が失敗したりするサービスもあります。そのため、トライアル版利用をするなど、あらかじめサービスの安定性もチェックしましょう。
6	従業員および管理者にとって利用しやすいサービスですか？	オンプレミスのファイルサーバーやNASと操作方法が大きく変わらないサービスを選ぶことで、ユーザー自身の操作学習や、管理者によるユーザー教育コストの軽減につながります。逆に操作性が従来と大きく異なる場合には、ユーザートレーニングが進まず、運用定着に時間がかかりすぎるケースもあります。
7	利用者数の増減やストレージ容量追加に柔軟に対応可能なサービスですか？	ユーザーID課金の場合、利用頻度や必要なストレージ容量に関わらず、利用人数が増えればコスト比例して増加します。利用人数を問わず、一定のストレージ容量をシェアできるユーザー数無制限のサービスの方が最適な場合もあります。
8	運用管理がしやすいサービスですか？	ユーザー管理にActive Directoryやシングルサインオン（SSO）を社内で行っている場合は、それらの既存システム/サービスと連携ができるサービスを選ぶことで、管理者によるメンテナンスを効率化し、ユーザーにとっての利便性も高まります。
9	ファイルをはじめとする情報資産の活用がしやすいサービスですか？	業務で発生・利用するファイルは、溜める事が目的ではないはずです。情報を保存・管理して、活用する事がファイルの目的と言ってもいいでしょう。クラウドストレージの中身が整理しやすい事に加えて、情報を可視化し分析ができるサービスか、確認しておきましょう。
10	カントリーリスクにも配慮されているサービスですか？	一般的なクラウドストレージサービスの場合、開発やサポート部隊、運用拠点は海外といったケースも少なくありません。そういった場合の個人情報やデータ取り扱いの是非まできちんと事前に確認できる事が望ましいでしょう。

失敗しない法人向けクラウドストレージの決定版 Fileforce® の特長

Fileforce®は累計23,000社以上*の法人企業様、公共団体様、土業のお客様をはじめ、幅広い業種・業界でご利用いただきご活用を頂いています。法人向け国産ストレージとしてご提供するこだわりと、**チェックすべきポイント10選のすべてを網羅する「失敗しない法人向けクラウドストレージの決定版」**としてご案内しております。

使いやすさ



- エクスプローラーからファイルにアクセス
- ファイルサーバーやNASと同様のフォルダ構成
- 社内外とのファイル共有も簡単に行える
- オンライン編集や共同編集も可能
- 高性能で操作感もストレス無し

セキュリティ



- 企画、開発、運用保守まですべて国内実施
- データや通信もすべて暗号化
- 強固で柔軟なアクセス権限管理
- アップロード時の自動ウイルスチェック
- 詳細な管理者ログ、ユーザーログ

優れたコスパ



- ユーザー無制限プランあり
- ストレージ容量が選べて全社でシェアできる
- 直感的に使いやすいから教育・学習コストも抑えて、管理負荷も軽減。

サービスご利用実績

ナショナルクライアントをはじめ
様々な規模・業種の企業様に導入いただいております。

累計
ご利用社数
23,000社
突破!
※OEM サービスなど含む



CITIZEN

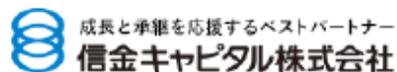


YOKOGAWA ◆

HIS

文藝春秋

RELO CLUB



一部抜粋

クラウドストレージFileforceは、11期連続 GoodService 受賞！

「BOXIL SaaS AWARD Spring 2025」オンラインストレージ部門で

11期連続「Good Service」受賞！

使いやすさや価格、
サポート等すべての項目でバランスよし！

BOXIL SaaS AWARD
Spring 2025

fileforce®

11期連続
Good Service受賞！
オンラインストレージ部門



受賞の詳細：<https://www.fileforce.jp/news/20250305news/>

導入・利用開始の流れ



検討から導入・活用まで 多くのノウハウを元に支援いたします

クラウド化へご不安な企業様でもご安心頂けるような
サポート・支援を行いますので是非ご利用くださいませ。

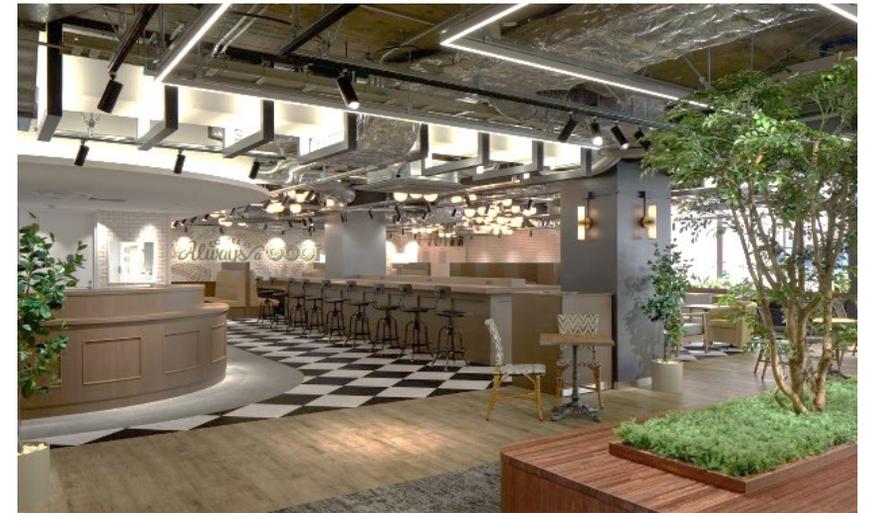
30日間無料トライアルの申込はこちら

<https://www.fileforce.jp/trial/>



会社概要

社名	ファイルフォース株式会社
提供サービス	Fileforce®（法人向けクラウドストレージ）
サービス開始	2014年4月
所在地	東京都千代田区丸の内3丁目3-1 新東京ビル4F
資本金	100,000,000円
代表取締役	サルキシャン アラム
主要株主	株式会社NTTドコモ・ベンチャーズ／東日本電信電話株式会社／ Intel Capital／株式会社シーティーエス／岡三キャピタルパートナーズ株式会社／ニッセイ・キャピタル株式会社／ アーキタイプベンチャーズ株式会社



“営業なしのオンライン相談会”のご案内

この度はホワイトペーパーのダウンロードをいただきましてありがとうございます。

ファイルフォースでは、お忙しい情報システムご担当者様向けに、クラウドストレージFileforceに関する“営業なしのオンライン相談”をご案内しています。

- ランサムウェア対策について知りたい
- サービスの概要をクイックに知りたい
- 無料トライアル申込みの前に、画面を確認しておきたい
- 想定する使い方に合うかどうか知りたい …など

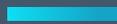
まずはお気軽にご相談ください！

【資料ダウンロードされた方限定】

ご相談はこちらから！



Thank You



<https://www.fileforce.jp/>